

【報道関係各位】

**【速報】 大型台風 15 号による
首都圏の‘帰宅難民’に関する調査**

- 台風の影響で‘仕事を早く切り上げて帰宅’した会社員は、46%
- 交通機関の運行状況は「パソコンのインターネットで検索」 4割超。
- 「震災時を経て、冷静に行動できたと思う」 約6割

2011年9月22日
株式会社マクロミル

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表：杉本哲哉）は、1都3県（東京、神奈川、千葉、埼玉）に通勤する会社員を対象に、「台風15号に関する調査」を実施しました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2011年9月21日（水）～9月22日（木）。有効回答は399名から得られました。

【調査結果概要】

【1】 台風の影響で「仕事を早く切り上げて帰宅」した会社員は、46%

大型台風15号の影響で交通機関の運行状況が乱れた9月21日（水）に、首都圏に出勤していた会社員に対して、帰宅時の状況について伺いました。

9月21日（水）、帰宅の時間帯に台風が接近していたことでどのような行動をとったかを尋ねたところ、「仕事を早く切り上げて帰宅した」が46%と最多、「会社で台風が過ぎるのを待った」17%、「他の路線やバスなど乗り換えを繰り返して帰宅した」8%でした。仕事を早く切り上げて帰宅をしなかった人に対して、帰宅にどれくらい時間がかかったかを尋ねると、「いつもの2倍」が33%と約3割。2倍以上かかった人は合計で66%となっており、大型台風の影響で交通機関が混乱していた様子がうかがえます。

【2】 交通機関の運行状況は「パソコンのインターネットで検索」 4割超。

9月21日（水）の帰宅時に交通機関の運行状況を何で調べたかを尋ねたところ、「パソコンのインターネット」が47%で最も多く、次いで「駅のアナウンス・掲示を見る」が42%、「携帯電話のインターネット」が32%となっています。情報の即時性が高いといわれる「ツイッター」を使っていた人は12%でした。パソコンを使える環境の人は、運行状況を確認した上で行動したようです。年代別に見ると、20代では「携帯電話のインターネット」が45%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっていました。また、20～30代では他の年代に比べ「ツイッター」が高くなっているのに対し、50代では「駅員に聞く」が高くなっています。

【3】 「震災を経て、冷静に行動できたと思う」 約6割。

3月11日の地震発生直後の首都圏の交通機関が混乱した時の経験を経て、今回は‘震災時の教訓が活かされたか’尋ねたところ、「活かされたと思う」と回答した人は42%でした。

‘活かされた’と思う理由については、「混雑が予想される時間帯を避けて早めに行動した」「電車を使わないルート調べてあった」「強引な帰宅は避けて落ち着いてから帰宅した」などの声があがっています。一方で‘活かされなかった’という人からは「台風に対する見通しが甘かった」「結果的に帰宅難民が大量に発生した」などのコメントがありました。

また、‘震災を経て、今回の台風時に冷静に行動できたか’を尋ねると57%が「はい」と回答していました。

【速報】 大型台風 15 号による
首都圏の‘帰宅難民’に関する調査

【調査結果詳細】

■調査概要

調査方法：	インターネットリサーチ						
調査地域：	1都3県（東京、神奈川、千葉、埼玉）						
調査対象：	9月21日に首都圏に出勤していた会社員（マクロミルモニタ会員）						
有効回答数：	合計サンプル		20代	30代	40代	50代以上	小計
		男性	27	53	86	89	255 サンプル
		女性	60	51	23	10	144 サンプル
調査日時：	2011年9月21日（水）～9月22日（木）※22日14：00時点での速報結果です						
調査機関：	株式会社マクロミル						

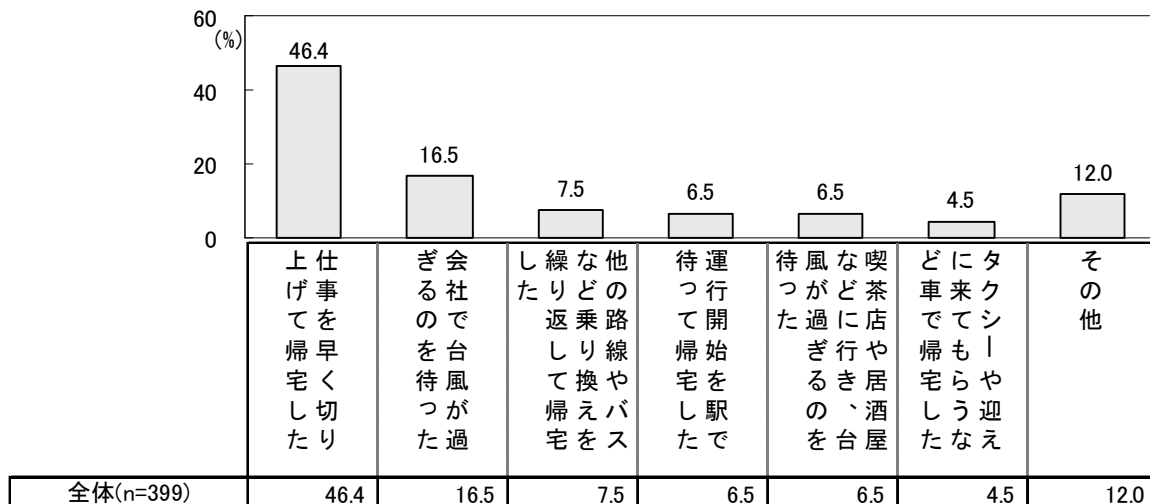
■ 台風の影響で‘仕事を早く切り上げて帰宅’した会社員は、46%

大型台風 15 号の影響で交通機関の運行状況が乱れた 9 月 21 日（水）に、首都圏に出勤していた会社員に対して、帰宅時の状況について伺いました。

9 月 21 日（水）、帰宅の時間帯に台風が接近していたことでどのような行動をとったかを尋ねたところ、「仕事を早く切り上げて帰宅した」が 46%と最多、「会社で台風が過ぎるのを待った」17%、「他の路線やバスなど乗り換えを繰り返して帰宅した」8%でした。（図 1）

【図1】台風で交通混乱時、会社員の行動（単一回答）

Q.9/21(水)の帰宅時に、台風が接近していたことであなたのとった行動に近いものをひとつ教えてください。

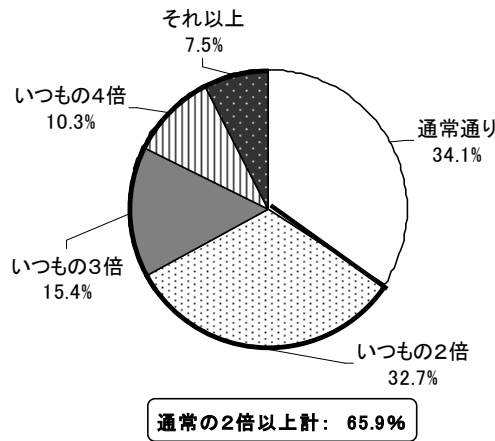


■ 早期帰宅しなかった人が帰宅にかかった時間は‘いつもの2倍以上’ 6割強。

仕事を早く切り上げて帰宅をしなかった人に対して、帰宅にどれくらい時間がかかったか尋ねたところ、「いつもの2倍」が33%、「いつもの3倍」が15%、それ以上の人も含め2倍以上かかった人は合計で66%となりました。「いつも通り」に帰宅できた人は34%でした。(図2)

【図2】いつもと比較して通勤にどれくらいかかったか

＜ベース：仕事を定時まで行った人 n=214＞
Q.9/21(水)、あなたはいつもと比べてどれくらい
帰宅に時間がかかりましたか。

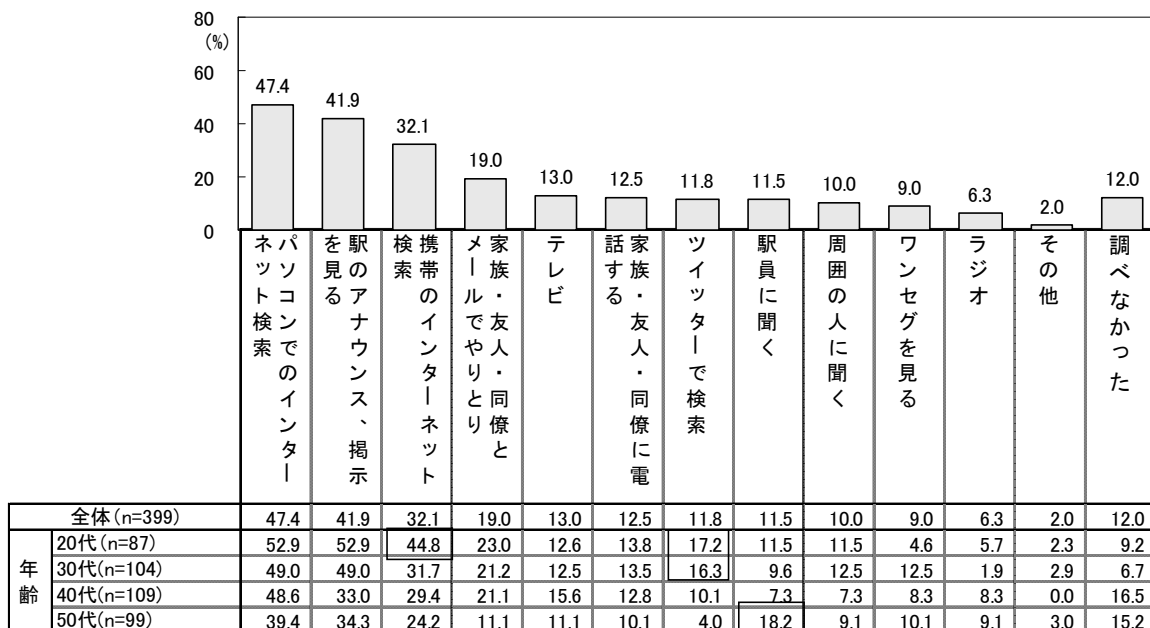


■ 交通機関の運行状況は「PCでネット検索」「駅のアナウンス・掲示を見る」4割超。
20～30代は「ツイッター」、50代は「駅員に聞く」各々2割弱。

9月21日(水)の帰宅時に交通機関の運行状況を何で調べたか尋ねたところ、「パソコンのインターネット検索」が47%で最多、次いで「駅のアナウンス・掲示を見る」が42%、「携帯電話のインターネット」が32%となっています。年代別に見ると、20代は「携帯のインターネット」が10ポイント以上高くなっています。また、20～30代では他の年代に比べ「ツイッター」が高くなっているのに対し、50代では「駅員に聞く」が高くなっていました。(図3)

【図3】交通機関の運行状況を何で調べたか(複数回答)

Q. 9/21(水)の通勤時、交通機関の運行状況はどのように調べましたか。



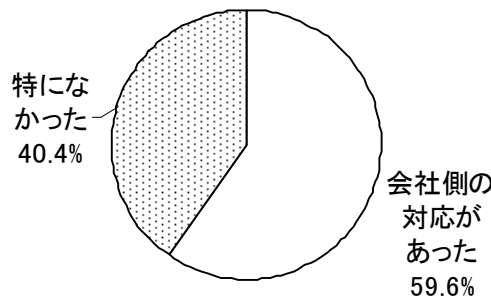
■ 会社側で台風に対する対応があった人は、6割。

台風15号をふまえて会社側から帰宅指示や何らかの対応があったかを尋ねたところ、対応があったと回答した人は60%でした。具体的な対応策については「早く帰るように指示がでた」というものが圧倒的多数でした。そのほか、「職場で電車が動くまで待機することが奨励された」「会社がホテルを用意してくれた」などの回答がありました。(図4)

【図4】会社から台風を踏まえての指示があったか

<n=399>

Q.9/21(水)、あなたの会社では台風15号をふまえての帰宅指示や何らかの対応がありましたか？



■ 「震災を経て冷静に行動できたと思う」 約6割。

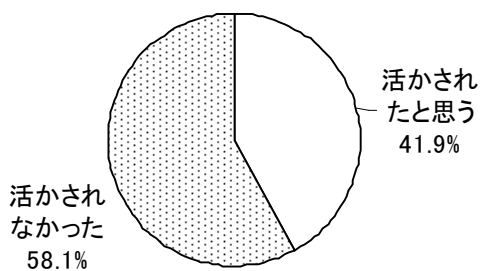
3月11日の地震発生直後に首都圏の交通機関が混乱した時の経験を経て、今回は「震災時の教訓が活かされたか」尋ねたところ、「活かされたと思う」と回答した人は42%でした。(図5) 具体的に理由を尋ねると、「強引な帰宅は避けて落ち着いてから帰宅するように行動できた」「電車を使わないルート調べてあった」「パニックは起きなかった」などの声があがっています。(P5_図5-1)

「震災を経て、今回の台風時に冷静に行動できたか」という問いには57%が「はい」と回答していました。(図6)

【図5】震災時の教訓は今回の台風で活かされたか

<n=399>

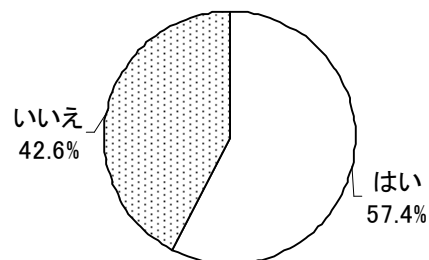
Q.3月11日の地震発生後も首都圏では交通マヒが起きました。震災時の教訓は今回、いかされましたか？



【図6】震災を経て冷静に行動できたと思うか

<n=399>

Q.震災を経て今回の台風で冷静に行動できたと思いますか？



【図5-1】震災時の教訓が活かされた／活かされなかった理由(自由回答・一部抜粋)
震災時の教訓は今回、いかされましたか？また、その理由をご記入ください。

活かされたと思う理由	性別	年齢(才)
強引な帰宅は避けて落ち着いてから帰宅するように行動できた	男性	30
徒歩で帰るルート把握していたから	男性	39
混雑がよそうされる時間帯を避けて早めに行動した	男性	40
無理に帰宅せず会社などで待機するなどの対応は活かされたと思う	男性	42
終電時刻になっても駅のシャッターを下ろさないと事前にアナウンスがあった	男性	44
JR駅構内で他の会社線の情報をアナウンスしており、役に立った	男性	55
電車が不通になった時は、会社が宿泊施設を提供してくれた	男性	59
電車を使わないルートを調べてあったので、JRが全面運休してもバスで帰れるという安心感があった	女性	35
パニックは起きなかった みんな比較的冷静だった	女性	40
3. 11時よりは交通機関側もユーザーも情報等に気をつけていたと思う	女性	41
電車が止まっていれば、会社に泊まりこみ・・・という覚悟が早めにした	女性	53
活かされなかったと思う理由	性別	年齢(才)
運行停止の情報が遅かった。会社では停止前に帰宅できるよう早期退社命令が出たが間に合わなかった	男性	34
各企業の台風に対する見通しが甘かったように感じたから	男性	37
台風の影響を過小評価していた。鉄道マヒの程度を見誤った	男性	44
震災時も車を利用したが、大渋滞に巻き込まれてしまった。今回も同様であった。鉄道が止まった時、車を利用するのは必ずしも正しい行動ではない	男性	45
総合的に公共交通を振り替えるようなシステムになっていないような気がする。 (各社独自の判断が中心のまま)	男性	48
やはり帰宅難民が大量に発生してしまった	男性	53
前日から予想されていたにもかかわらず、効果的な対応を取らなかった	男性	56
正しく早い情報が駅にもネットにも無かった	男性	60

【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内100万人を超えるマクロミルモニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
 本社 ■東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 URL ■www.macromill.com
 設立 ■2000年1月31日
 資本金 ■16億0,037万円 ※2011年8月1日現在
 上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）
 代表者 ■代表取締役会長兼社長 杉本哲哉
 従業員数 ■533名 ※2011年8月末現在
 事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクロミル 広報担当：大野
 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。

<例> 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると・・・」

